

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

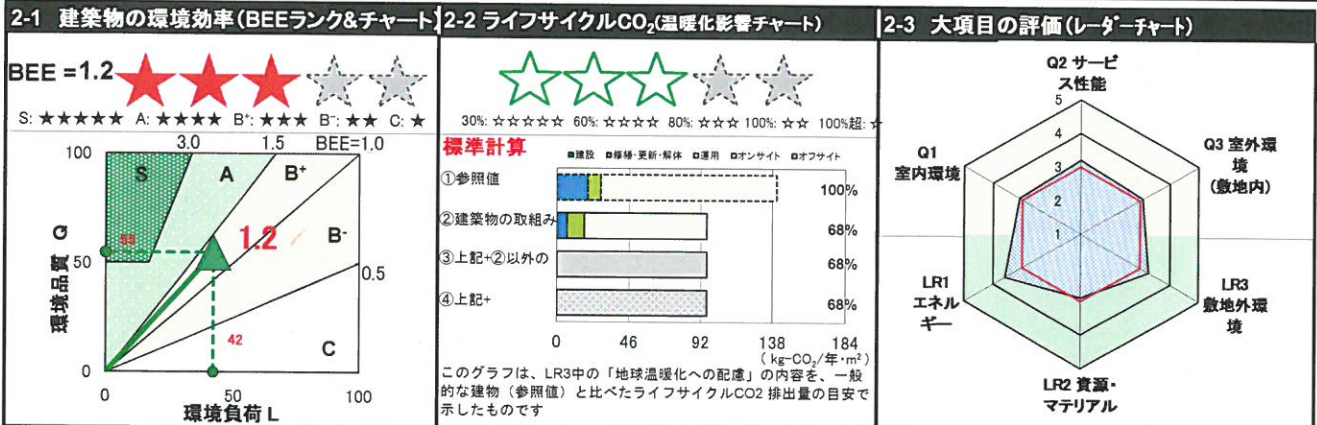
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サーパス富安一丁目	階数	地上9F
建設地	鳥取県鳥取市富安一丁目6番1、6番	構造	RC造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	228 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年11月 予定	評価の実施日	2017年6月16日
敷地面積	2,281 m ²	作成者	燦設計室 山崎
建築面積	802 m ²	確認日	
延床面積	5,221 m ²	確認者	

外観パース等

図を貼り付けるときは

シートの保護を解除してください

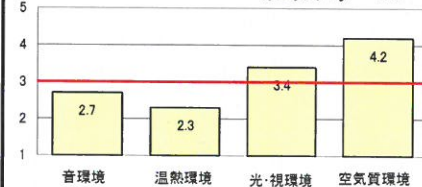


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

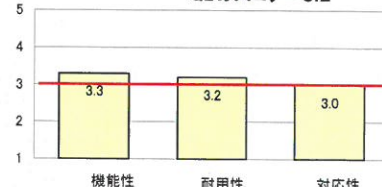
Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1



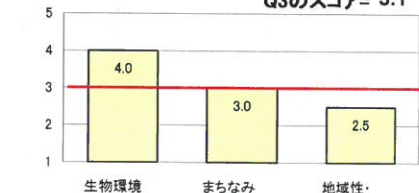
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2



Q3 室外環境 (敷地内)

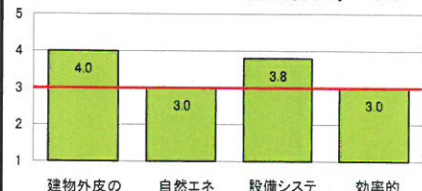
Q3のスコア= 3.1



LR 環境負荷低減性

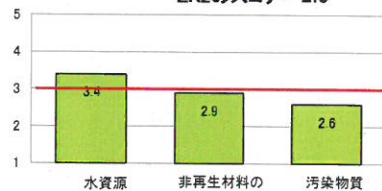
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6



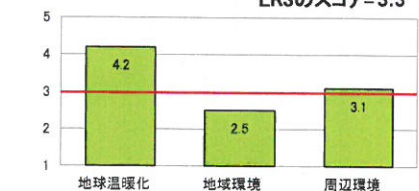
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3



3 設計上の配慮事項

総合

建物の維持管理のし易さ、長寿命化、省エネルギー性能の確保、地域景観への配慮

その他

Q1 室内環境

省エネルギー性能の確保、床衝撃音の低減、グレア抑制、F☆☆☆☆建材の採用

Q2 サービス性能

建物劣化対策、各種カーサームの設定

Q3 室外環境 (敷地内)

道路沿いの植栽、道路からの壁面位置、景観を意識した建物色彩及び意匠

LR1 エネルギー

省エネルギー性能の確保、高効率設備機器の採用

LR2 資源・マテリアル

節水機器の採用、躯体と仕上材の分別のし易さ

LR3 敷地外環境

適切な量の自転車及び駐車場の確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される